



PLUS ULTRA

# HAKUOH

白鷗大学足利高等学校 令和4年3月31日発行



▲全国大会出場を決めた選手たち



卒業式での学校長式辞▲

▼本校舎 卒業する生徒たち



富田キャンパス 体育祭の風景▼



令和4年

# 3/31

# 第64号

- 心に響いた言葉たち 学校長 大橋 芳樹 ..... 2ページ
- 卒業生に贈る言葉 ..... 3ページ
- 学窓の思い出 ..... 4~5ページ
- 進学・就職状況 ..... 6~7ページ
- 活躍する部活動 ..... 8~11ページ
- 本校舎トピックス ..... 12~13ページ
- 富田キャンパストピックス ..... 13~14ページ
- 白鷗大学だより ..... 15ページ
- PTAだより・生徒会・他 ..... 16ページ



# 心に響いた言葉たち

白鷗大学足利高等学校長 大橋 芳樹

日々の生活の中で何気なく出会った言葉に、時として、勇気や元気をもらうことがあります。また、その言葉が、その時ぶち当たっている壁を乗り越えるためのヒントになることがあります。私の人生の中で出会った素敵な言葉を四つプレゼントします。

◆「まくとうそーけー、なんくるないさ」…私の大好きな沖繩の方言です。今は「なんくるないさ」は、「なんとかなるさ」という楽観的な軽い意味で用いられますが、本来は「まくとうそーけー、なんくるないさ」という定型句で用いられ、「人として正しい行いをしていれば、自然とあるべき様になるものだ」という意味を持つ言葉であり、「人事を尽くして天命を待つ」と似た言葉です。「やるべきことはやって、後は自然の成り行きに任せる」という意味なのです。本来の意味を知ると、少し哲学的といえいいのか、宗教的といえいいのか、深い意味合いの言葉であることが分かります。



◆「みんなちがって、みんないい」…大正末期から昭和初期にかきこまれた言葉です。「やるべきことはやって、後は自然の成り行きに任せる」という意味なのです。本来の意味を知ると、少し哲学的といえいいのか、宗教的といえいいのか、深い意味合いの言葉であることが分かります。



厳粛に行われた卒業式

◆「守破離」…「しゅはり」と読みます。中学校で剣道部に入部した時に、私はこの言葉に出会いました。日本での茶道、武道、芸術における修行の段階を示す言葉です。「守」とは、師や流派の教え、型、技を忠実に守り、確実に身に付ける段階、「破」とは、他の師や流派の教えについても考え、よいものを取り入れ、心技を発展させる段階、「離」とは、一つの流派から離れ、独自の新しいものを生み出し確立させる段階を示しています。この「守破離」の考え方は、茶道、武道、芸術だけではなく、スポーツ、仕事、勉強、遊び等々、世の中のほぼすべての技術の習得に当てはまります。「守破離」で技術を磨きましょう。



卒業生総代  
総3の5井之上陽星さん(人間藤沢中)

◆「落ちるだけ落ちてごらん。次は上り坂だ」…日本を代表するバイオリニストである千住真理子の言葉です。二歳半ばかりバイオリンを始め、十二歳でNHK交響楽団と共演し、プロデビューを果た



祝電の数々

しますが、「天才少女」と呼ばれることが負担となり、二十歳の時に一度バイオリンを辞めています。自暴自棄になっていた時に、ホスピスでバイオリンのボランティア演奏をする機会があり、自分の演奏に涙し、「ありがとう」といってくれる患者の姿を見て、「絶望に陥っている時に、音楽に救われるような気持ちになることが本当にあるんだ」という天啓を得て、二十二歳で再びプロの道を志したそうです。この言葉は、後になって新聞記事の中で、二十歳の自分に贈ったものだそうです。世の中には、必ずあなたを必要としている人がいます。人生、いくらでもやり直しがききますので、落ちるだけ落ちても大丈夫です。

# 卒業生に贈る言葉

## 心の窓



『心の窓はいつでもできるだけ数をたくさんに、そうしてできるだけ広く開けておきたいものだ』

寺田寅彦の言葉です。寺田寅彦は東大物理学の権威というべき科学者です。地球物理学やX線の研究をする一方で「金平糖の角の研究」や「ひび割れの研究」など身の物理現象にも興味を持ちました。また文学・絵画・バイオリンなど芸術分野にも秀で、夏目漱石が才能を認める文筆家でもありません。まさに、たくさん心の窓の持ち主だったのでしょう。

コロナ禍となって2年。私たちは様々な制約を受けて暮らしています。孤独・孤立や独りよがりの思い込みによる暗い事件も増えているように思います。そんな時代だからこそ私はこの寅彦の言葉を皆さんに送りたいのです。自分だけ窓を開ける。しかも、できるだけ数をたくさん開ける。ここが肝心

教頭 須藤 敏哉

だと思えます。興味・関心のあることはもちろん、興味のないことにも、自分と反対の考えにも、気に入らないことにも、時には逃げ道として、どうかたくさん窓を開け、柔軟な心と多角的な視点を持った社会人となってください。

## 何事も考え方一つ



高校卒業おめでとうございます。皆さんは、これまで日本人だけでなく世界中の人々が、いや、人類が経験したことのない、パンデミックの真つ直中で高校生活の3分の2を過ごしたことになります。

社会の仕組みや人々の価値観が大きく変わり、想像したことのない生活様式の中で、特異なことをたくさん経験したことでしょう。いろいろな出来事の中で、様々なことを考えたと思います。一昨年から新型コロナウイルス感染症が拡

教頭 湯澤 昭子

「情けは人のためならず」ということわざがあります。人に情けを掛けておくと、巡り巡って結局は自分のためになるという意味です。少しくらい自分に負担が掛かって、困っている人を助けよ

## 右か左か迷ったら

文理進学コース長

倉林 伸好



うということですよ。

1985年、イラン・イラク戦争の際、48時間後に迫った攻撃に、日本人215人がイランに取り残されてしまいました。その時、トルコから駆けつけた援助機によって全員が脱出できました。一方、イランにいたトルコの人々は、飛行機を日本人に譲り、陸路で避難したそうです。これは、1890年に日本で起きたトルコ軍艦海難

事故で、日本の人々の不眠不休の救助活動と援助に対するトルコ政府からの恩返しでした。この軌跡は映画にもなりましたが、受けた「情け」は何年経っても忘れられることはないということです。

さて、卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。これからの人生で、もし右か左か判断に迷ったら、相手を助ける方を、自分が損になる方を選んでみてください。きっと、倍になって返ってくると思いますよ。

## 贈る言葉



本校舎3学年主任

渡辺 洋一

3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。そして、卒業生を今日まで見守ってきた保護者の皆様、ご家族の皆様、心よりお祝い申し上げます。

思い起こせば、1年生の後半頃から、新型コロナウイルスの感染が全国的に広がり、感染拡大防止のため、多くの行事が中止となりました。本校でも、本校舎の白鷺祭、部活動の各種大会、両校舎の学習合宿や修学旅行など、数えたら切りがありません。悔しい思い

をした人、悲しい思いをした人もきっと多かったことでしょう。本校では感染拡大防止に配慮しながら学習活動、課外活動などを実施してきましたが、限界がありました。残念です。

しかし、明けない夜はありません。何気ない日常を取り戻せる日がやって来る事を信じて前を向いて進みましょう。皆さんには無限の未来が広がっています。新たなステージでも皆さんが活躍することを心よりお祈り申し上げます。



# 学窓の思い出



特別進学コース  
3年1組  
齊藤 桜  
(白鷗足利中)

## 早稲田大学 教育学部 国語国文学科

私が本校で過ごした3年間は、長いようで短く、とても充実していました。中でも、私の所属していた特進クラスは、メンバーも担任の先生も3年間変わらないという点もあって、活気がある団結力の強いクラスでした。コロナ禍での数少ない学校行事を全力で楽しみ、試験前は苦手な箇所を教え



合って、日々、切磋琢磨しながら目標に向かって頑張ってきました。

所属していた部活動では部長を務めていましたが、至らない点が多く、迷惑をかけてしまうこともありました。それでも、頼もしい友人や後輩の支えがあつて、責務を果たすことができました。

3年間の学校生活の中で、私は周囲の人に恵まれたと実感しています。学友はもちろん、様々な面から私を支えてくれた家族や先生方には、本当に感謝しています。

これからも、人との繋がりを大切に、日々精進していきたいと思えます。3年間ありがとうございました。



特別進学コース  
3年1組  
須永 来夢  
(山辺中)

## 宇都宮大学 共同教育学部 学校教育教員養成課程

私は3年前、白鷗大学足利高校に入学しました。中学校からの同級生がほとんどいない新生活には不安もありましたが、高校生活へ

の大きな期待と、絶対に夢を実現するという強い決意をもって入学したことを思い出します。模擬試験や定期テストでは思うような結果が出せず、悩んでいたこともありましたが、いつも気の合う友人たちが私の傍で支えてくれました。そんな友人たちと過ごす高校生活では、数えきれない思い出がありました。1年次の文化祭。2・3年次のコロナ禍での体育祭。様々な変更や制限の中でも全力で取り組んだおかげで、とても充実した行事となりました。些細なことでもみんなと大笑いして過ごした3年間はとても特別な時間となりました。白鷗での3年間には、私の「青春」がたくさん詰まっています。またいつか笑って再会することを信じて、夢に向かって頑張っていきたいと思えます。



進学コース  
3年4組  
亀井 葉名  
(大泉北中)

## 群馬大学 理工学部 物質・環境類

本校で過ごした3年間はとても充実した日々でした。皆で切磋琢磨しながら勉学に励んだことや、コロナ禍で少なくなりましたが、学校行事にクラス全員



で協力しながら全力で取り組んだことはとても良い思い出です。また、私が所属していたダンス同好会では、講師の先生から直接指導をしていただいたり、活動時間外



進学コース  
3年2組  
小林 湊  
(尾島中)

## 群馬県立女子大学 文学部 英米文化学科

クラスメイトと切磋琢磨しながら学業と学校行事に取り組んだ3年間は、私にとってとても有意義なものになりました。特に、みんなで力を合わせた富キャン祭、体育祭、合唱祭は思い出深い行事です。その中でも、1年次の合唱祭では最優秀伴奏者賞を受賞し、私のクラスも最優秀賞を取ることができました。また、私が所属した科学部では、日本学生科学賞栃木展覧会で優秀賞を頂き、とても貴

に相談に乗っていただいたりと大変貴重な体験をすることができました。不安な私を常に勇気づけてくれた講師の先生、一つの作品を作り上げていくために練習に取り組んだ時間、同じ目標のために努力した仲間が存在、どれもかけがえのない良い思い出です。

多くの先生方や友人に支えられてきたことに感謝をし、進学後も努力を忘れず、頑張っていきたいと思えます。3年間、本当にありがとうございました。

重要な経験をすることができました。

大学受験の際には、面接練習や小論文の添削指導で担任の先生をはじめ、多くの先生方に指導していただき、本当にお世話になりました。先生方の丁寧で熱心な指導に感謝の気持ちでいっぱいです。大学進学後も机上の勉強だけでなく、本校で学んだ様々なことを生かして、いろいろなことに挑戦し頑張っていきたいです。3年間、お世話になりました。





文理進学コース  
3年1組  
神山 南帆  
(陽南中)

明治大学  
文学部 史学地理学科  
日本史学専攻

本校での3年間は個性あふれる  
たくさんの方や先生に恵まれ、  
とても充実した日々を送ることが  
できました。

私は、文武両道を目指しに高校生  
生活を過ごしました。バスケット  
ボール部に所属し、チームメイト  
と日々切磋琢磨しながら練習に励  
んでいました。高校最後の大会で  
は、全国大会ベスト16という結果  
を残すことができ、このチームで  
戦えて本当に幸せだと実感しまし  
た。

学業に関しては、隙間時間を有



効に活用して少しでも学習時間を  
確保することで、定期試験や模擬  
試験に備えていました。文武両道  
をやり遂げた結果、希望の大学へ  
進学することができました。

この3年間、仲間と共に笑いの  
絶えない高校生活を送ることがで  
きました。今後人との出会いを  
大切に、支えてくれた方々への  
感謝を忘れず、成長し続けていき  
たいと思います。ありがとうございます。



文理進学コース  
3年3組  
渡邊 夢万  
(赤見中)

栃木医療センター附属  
看護学校 看護学科

本校で過ごした3年間は、振り  
返るとあっという間でも充実  
したものでした。新型コロナウイルス

の影響を受け続け、修学旅行  
をはじめとする様々な学校行事や  
部活動の大会が中止となり、辛い  
思いをすることが多い高校生活で  
もありました。しかしそのような  
中でも、3年間水泳部での活動を  
やり遂げたことは、これからの人  
生において大きな自信になりまし  
た。また、部活動を通じて、仲間  
と支え合って目標に向けて前進す  
ることの大切さを学ぶことができ  
ました。



寄せられた祝電の前で

学習面においては、休み時間等  
の短い時間を効率的に活用して勉  
強することを心掛け、定期試験や  
受験に備えていました。

貴重でかけがえのない3年間の  
経験を生かして、専門学校進学後  
も最後まで諦めることなく、勉学  
に励んでいきたいと思っています。  
3年間、私を支えてくれた全て  
の方々に心から感謝しています。  
ありがとうございます。



総合進学コース  
3年3組  
佐藤 美々香  
(山辺中)

白鷺大学  
教育学部 発達科学科  
スポーツ健康専攻

本校で過ごした3年間は驚くほ  
どあっという間で、とても充実し  
たものになりました。  
私はソフトテニス部に所属して

いました。大会で結果を残すため  
に先生方の熱心なご指導のもと、  
毎日練習に取り組んできました。  
2年次に、新型コロナウイルス感  
染拡大の影響で、3年生にとって  
最後の大会が中止になってしま  
いました。私は3年生の分まで結果  
を残すと決め、感染対策を行いな  
がら、それからの練習に取り組み  
ました。3年生最後の大会で結果  
を残すことはできませんでしたが、  
自分の力を十分に発揮することが



総合進学コース  
3年4組  
石川 真章  
(陽南中)

栃木県警察本部

私は本校で充実した学校生活を  
送るために「文武両道」を目標と  
し、日々努力しました。

学習面では、授業に真剣に取り  
組むことはもちろんのこと、休み  
時間や電車内の時間も有効に使  
い、定期試験対策を地道に行いま  
した。また、わからないところは  
先生や友達に質問して教えてもら  
うことで理解を深めました。これ  
らを継続したことで、定期試験で  
は常に上位の成績を収めることが  
できました。

部活動では剣道部に所属し、副  
部長やチームの大将を経験させて

できました。最後まで部活動をや  
り遂げることができたのも仲間や  
先生方、家族の支えがあったから  
だと思います。当たり前が当たり  
前ではなくなった今、大会が行わ  
れたこと、練習が行えたことは貴  
重な経験だったと実感しています。  
ここまで支えてくれた方々への感  
謝の気持ちを忘れず、今後も成長  
していきたいと思っています。お世話  
になった先生方、3年間ありがとう  
ございました。

いただし、様々な重圧に耐える強  
い精神力と責任感を養うことがで  
きました。また、普段から仲間と  
切磋琢磨することで、目標に向け  
て前進していくことの大切さを学  
びました。

私は、この学校でたくさんの方  
に支えられ、多くのことを学び成  
長することができました。これか  
ら先、立派な警察官になるために  
精進したいと思っています。  
3年間本当にありがとうございます。



藤田監督からエールをもらう野球部

令和4年度入試

大学・短期大学合格状況

令和4年3月31日現在

お茶の水女子大学、電気通信大学、千葉大学など

国公立大学(大学校、外国の国立大学を含む)計33名

早稲田大学、上智大学、

東京理科大学など私立大学計422名

お茶の水女子大学	1名	〔国立大学〕	31名
電気通信大学	1名	〔大学校〕	1名
千葉大学	1名	〔私立大学〕	422名
東京学芸大学	1名	〔国立大学(外国)〕	1名
金沢大学	2名	〔大学校(理工)〕	1名
帯広畜産大学	1名	〔国立大学(外国)〕	1名
北見工業大学	2名	〔大学校(理工)〕	1名
秋田大学	1名	〔国立大学(外国)〕	1名
宇都宮大学	3名	〔大学校(理工)〕	1名
群馬大学	6名	〔国立大学(外国)〕	1名
信州大学	3名	〔大学校(理工)〕	1名
新潟大学	3名	〔国立大学(外国)〕	1名
上越教育大学	1名	〔大学校(理工)〕	1名
群馬県立女子大学	3名	〔国立大学(外国)〕	1名
福井県立大学	1名	〔大学校(理工)〕	1名
島根県立大学	1名	〔国立大学(外国)〕	1名
〔私立大学〕	422名	〔大学校(理工)〕	1名
早稲田大学	3名	〔国立大学(外国)〕	1名
上智大学	2名	〔大学校(理工)〕	1名
東京理科大学	6名	〔国立大学(外国)〕	1名
明治大学	3名	〔大学校(理工)〕	1名
立教大学	9名	〔国立大学(外国)〕	1名
中央大学	7名	〔大学校(理工)〕	1名
法政大学	6名	〔国立大学(外国)〕	1名
関西学院大学	1名	〔大学校(理工)〕	1名
成蹊大学	5名	〔国立大学(外国)〕	1名
明治学院大学	5名	〔大学校(理工)〕	1名
日本大学	3名	〔国立大学(外国)〕	1名
東洋大学	8名	〔大学校(理工)〕	1名
駒澤大学	10名	〔国立大学(外国)〕	1名
専修大学	3名	〔大学校(理工)〕	1名
芝浦工業大学	3名	〔国立大学(外国)〕	1名
白鷲大学	152名	〔大学校(理工)〕	1名
他	196名	〔国立大学(外国)〕	1名



北京外国語大学 (中文)	1名	〔国立大学(外国)〕
防衛大学校 (理工)	1名	〔大学校〕
お茶の水女子大学 (理)	1名	〔国立大学合格一覽〕
電気通信大学 (情報理工)	1名	〔国立大学合格一覽〕
千葉大学 (理)	1名	〔国立大学合格一覽〕
東京学芸大学 (教育)	1名	〔国立大学合格一覽〕
金沢大学 (人間社会)	1名	〔国立大学合格一覽〕
帯広畜産大学 (畜産)	1名	〔国立大学合格一覽〕
北見工業大学 (工)	2名	〔国立大学合格一覽〕
秋田大学 (教育文化)	1名	〔国立大学合格一覽〕
宇都宮大学 (共同教育)	2名	〔国立大学合格一覽〕
群馬大学 (医)	1名	〔国立大学合格一覽〕
群馬県立女子大学 (文)	3名	〔国立大学合格一覽〕
福井県立大学 (簿記)	1名	〔国立大学合格一覽〕
島根県立大学 (総合政策)	1名	〔国立大学合格一覽〕
新潟大学 (経済科)	2名	〔国立大学合格一覽〕
上越教育大学 (学校教育)	1名	〔国立大学合格一覽〕
群馬県立女子大学 (文)	3名	〔国立大学合格一覽〕
福井県立大学 (簿記)	1名	〔国立大学合格一覽〕
島根県立大学 (総合政策)	1名	〔国立大学合格一覽〕

白鷲大学	152名	〔その他私立大学合格者〕
成蹊大学	5名	〔その他私立大学合格者〕
明治学院大学	5名	〔その他私立大学合格者〕
日本大学	3名	〔その他私立大学合格者〕
東洋大学	8名	〔その他私立大学合格者〕
駒澤大学	10名	〔その他私立大学合格者〕
専修大学	3名	〔その他私立大学合格者〕

早稲田大学 (政治経済)	1名	〔私立大学合格一覽〕
早稲田大学 (教育)	1名	〔私立大学合格一覽〕
早稲田大学 (国際教養)	1名	〔私立大学合格一覽〕
上智大学 (文)	2名	〔私立大学合格一覽〕
東京理科大学 (理工)	3名	〔私立大学合格一覽〕
東京理科大学 (先進工)	1名	〔私立大学合格一覽〕
東京理科大学 (文)	3名	〔私立大学合格一覽〕
東京理科大学 (文)	3名	〔私立大学合格一覽〕
立教大学 (文)	3名	〔私立大学合格一覽〕
立教大学 (経営)	1名	〔私立大学合格一覽〕
立教大学 (観光)	1名	〔私立大学合格一覽〕
立教大学 (現代心理)	2名	〔私立大学合格一覽〕
立教大学 (理)	2名	〔私立大学合格一覽〕
立教大学 (文)	4名	〔私立大学合格一覽〕
中央大学 (法)	1名	〔私立大学合格一覽〕
中央大学 (経済)	1名	〔私立大学合格一覽〕
中央大学 (理工)	1名	〔私立大学合格一覽〕
中央大学 (文)	1名	〔私立大学合格一覽〕
法政大学 (経済)	2名	〔私立大学合格一覽〕
法政大学 (キャリア)	1名	〔私立大学合格一覽〕
法政大学 (理工)	1名	〔私立大学合格一覽〕
法政大学 (スポーツ健康)	1名	〔私立大学合格一覽〕
関西学院大学 (文)	1名	〔私立大学合格一覽〕

芝浦工業大学	3名
自治医科大学	1名
東京薬科大学	2名
獨協大学	8名
郡山女子大学	1名
日本ウェルネススポーツ大学	1名
流通経済大学	2名
足利大学	10名
跡見学園女子大学	3名
宇都宮共和大学	1名
江戸川大学	2名
国際医療福祉大学	3名
作新学院大学	2名
桐生大学	2名
群馬医療福祉大学	3名
群馬県立女子大学	3名
上武大学	3名
高崎健康福祉大学	4名
共栄大学	5名
埼玉工業大学	2名
埼玉学園大学	5名
十文字学園女子大学	2名
城西大学	2名
駿河台大学	3名
聖学院大学	2名
東京国際大学	3名
東京都立大学	1名
日本医療科学大学	1名
日本工業大学	4名
日本保健医療大学	3名
人間総合科学大学	5名
文成大学	18名
平成国際大学	5名
秀明大学	1名

神田外語大学	1名
淑徳大学	3名
千葉工業大学	1名
亜細亜大学	1名
北里大学	2名
共立女子大学	1名
工学院大学	3名
国士館大学	1名
順天堂大学	1名
昭和音楽大学	1名
昭和女子大学	1名
大正大学	4名
大東文化大学	7名
玉川大学	1名
帝京科学大学	1名
帝京大学	6名
帝京平成大学	1名
デジタルハリウッド大学	1名
東海大学	2名
東京有明医療大学	1名
東京家政大学	1名
東京経済大学	2名
東京電機大学	3名
東京女子体育大学	1名
東京農業大学	1名
東京福祉大学	2名
東京保健医療専門職大学	1名
東京未来大学	1名
二松学舎大学	1名
日本体育大学	1名
日本女子体育大学	1名
文化学園大学	5名
武蔵大学	5名

**〔専門学校合格者〕**

獨協医科大学附属看護専門学校	2名
栃木医療センター附属看護学校	1名
関東職業能力開発大学校	1名
館林高等看護学院	1名
太田医療技術専門学校	6名
他専門学校等	69名合格

**80名**

**〔短期大学合格者〕**

足利短期大学	2名
佐野日本大学短期大学	9名
高崎商科大学短期大学部	1名
川口短期大学	1名
育英短期大学	1名
埼玉純真短期大学	1名
埼玉女子短期大学	1名
昭和学院短期大学	1名
新渡戸文化短期大学	1名

**18名**

武蔵野大学	2名
明治薬科大学	1名
目白大学	2名
立正大学	6名
神奈川大学	2名
鶴見大学	1名
横浜商科大学	1名
山梨学院大学	2名
広島国際大学	1名
四国大学	1名



## 令和3年度の**主な就職先**

栃木県外	栃木県内
(株)おび工房	(株)アルレクス
(株)ケーズホールディングス	いすゞライネックス(株)
昭和有機茨城(株)	(有)鹿沼スイミングスクール
太陽誘電(株)	シミックCMO(株)
日野自動車(株)	新小山市市民病院
(株)ペヤングホールディングス	(株)大協精工
(株)ヨシカワ	(株)栃木イエローハット
<b>公務員</b>	日立ジョンソンコントロールズ空調(株)
陸上自衛隊	
栃木市消防本部	
小山市消防本部	
栃木県警察本部	



**就職状況**  
若い人材を求める

全国での高校生への有効求人倍率が毎年伸びている中、本校への求人数も、昨年に引き続き600を超える企業から求人をいただきました。

従来通り9月から始まった今年の就職試験の内定率は約80%でした。その後は随時試験をしていたが、12月末には全員の内定を得ることができました。

今年度は、事情により急遽数名の生徒が進路変更をしましたが、何とか就職希望者全員が内定を取

ることができました。特に、公務員に6名の内定をいただくこととなりました。

在校生においては、現在の高校生の就職状況を把握し、「ここで働きたい、努力していきます」という意欲を持つことがまず肝心です。入社試験で課せられる学力試験や面接試験に備えて基礎学力の向上に努め、部活動や資格取得に励み、自分の目標に向けて高校生活全般を見つめ直すことが求められています。

# 活躍する部活動

## 関東大会

### 女子ソフトテニス部

#### 関東選抜大会2連覇達成

1月22・23日、茨城県ひたちなか市総合体育館で2年ぶりに関東高校選抜ソフトテニス大会が行われました。

1回戦の甲府昭和高校（山梨県）との試合は3-0で勝利し、準々決勝は昭和学院高校（千葉県）と対戦しました。1番に出場した文2の3板井亜樹さん（前橋みずき中）・総1の5小林愛未さん（深谷花園中）ペアは粘り強く戦いG4-1で勝利。総1の2日笠愛美さん（壬生中）・総2の3橋本和香菜さん（杉戸広島中）ペアもG4-0で勝ち切るなど3-0で勝利し、2日目の準決勝へと



優勝した女子ソフトテニス部

駒を進めました。

準決勝では文大杉並高校（東京都）と対戦しました。1番に出場した総1の3梶原理央さん（今市中）・総2の3菊次萌花さん（下館南中）ペアが1時間30分にも及ぶ大接戦を制してチームに勢いをつけると、2番に出場した日笠さん・橋本さんペアも勝利し、2-0で決勝進出を決めました。決勝戦は日大藤沢高校（神奈川県）と対戦し、3番勝負を梶原さん・菊次さんペアがG4-0で勝利。見事2年ぶりの関東高校選抜大会優勝を果たし、2連覇を成し遂げることができました。

応援ありがとうございました。

### ボクシング部

#### 目指せ、全国チャンピオン!

1月20・23日、埼玉県加須市市民体育館で令和3年度第8回関東高等学校女子ボクシング選抜大会が行われ、本校からはライトフライ級で総1の1早川瑠愛さん（山辺中）、フライ級で総1の5鈴木美結さん（宮代百間中）、ライト級で総2の4小林渚沙さん（姿川中）の3名が出場しました。

結果は、鈴木さんと小林さんがともに優勝することができ、3月に北海道で開催される全国高等学校

校ボクシング選抜大会/JOCジュニアオリンピックカップ大会への出場を決めました。1月に三重県で開催された全日本女子ボクシング選手権大会では両選手とも準優勝に輝いています。3月の大会では2人揃って全国チャンピオンになれるように、これまでの経験を生かして頑張ります。早川さんはあと一歩のところまで勝利をつかみ取ることができませんでしたが、今後の活躍に期待されます。

白鷲ボクシング部は、全国の頂点に立てるように今後も一丸となつて頑張りますので、応援よろしくお願いします。



優勝した鈴木さん(左)と小林さん

### 硬式野球部

#### 第74回秋季関東地区高校野球大会

10月30日・11月7日に茨城県ノーブルホームスタジアム水戸、ジェイコムスタジアム水戸において秋季関東大会が行われました。

1回戦、藤代高校（茨城県）との試合は9-1で勝利し、準々決勝では山梨学院高校（山梨県）と



キャプテンの総2の4  
谷澤勝斗さん(大井川中)

対戦しました。初回にエラーに付け込まれ、3失点を喫してしまいました。その後も相手のペースで試合を運ばれてしまい、結果的には0-9で敗れてしまいました。この秋季関東大会は、選抜甲子園大会の出場校を決める参考資料となる大会でした。今大会での結果も踏まえ、残念ながら本校は選出されませんでした。6年ぶりの出場となった秋季関東大会でしたが、悔しい思いを残した大会となってしまいました。

このチームで甲子園に挑戦できるチャンスは、夏の選手権大会の1回しかありません。今大会での悔しさを常に忘れず、日頃ご理解、ご協力、ご声援を頂いている学校、生徒の皆さんに恩返しのできるよう取り組んでいきたいと思えます。応援ありがとうございました。

### 女子サッカー部

#### 秋季関東大会で初の第4位

10月23日から茨城県で関東高校女子サッカー秋季大会が行われました。1回戦は神奈川県桐蔭学

園と戦い、一進一退の攻防を繰り返して、0-0の後、PK戦で勝利しました。2回戦では東京都の国分寺高校と戦いました。前半、キャプテンの文3の4柿沼里奈さん（大平南中）がハーフラインからドリブルで独走し、冷静にGKの頭上を越えるシュートを決め、1-0で勝利することができました。準決勝は、千葉県の幕張総合高校と対戦しました。しかし、一人ひとりの能力が高い相手チームに攻め込まれる時間が長くなり、0-3で敗れました。3位決定戦では、茨城県の常磐大学高校と対戦しました。ポゼッションを優位に進めた結果、ゲーム全体をコントロールできていましたが、決定力を欠き一瞬の隙を狙われ0-2で敗退となりました。

関東大会で第4位になれたことは、大きな自信につながりました。今後も「関東で戦えるチーム」を目指し、部員一同、努力を続けていきます。



試合前の様子

## 陸上競技部

### ◆関東高校選抜新人大会

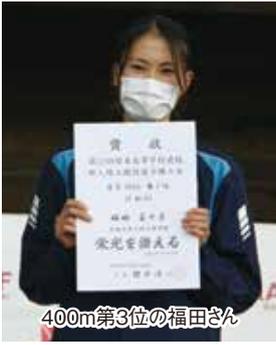
計15名が出場

10月23・24日、茨城県ひたちなか市笠松運動公園陸上競技場において来年度の関東高校総体を見据えた重要な大会である、関東高校選抜新人大会が行われました。コロナ対策により、昨年に引き続き無観客での大会でしたが、本校からは男子8名、女子7名、計15名が出場しました。

結果は、文2の4福田菜々子さん（黒磯北中）が女子400mで第3位、女子200mで第6位と二種目で入賞することができました。惜しくも決勝進出は逃しましたが、健闘した選手も多くおり、来年のインターハイに向けての目標や課題を見つけることができました。

今回の結果に満足することなく、しっかりとトレーニングを重ね、来年のインターハイで最高の結果を出せるように頑張っていきたいと思えます。

応援ありがとうございました。



400m第3位の福田さん

## ◆関東高校駅伝競走大会

女子チームが出場

11月20日、栃木県宇都宮市カンセキスタジアムにおいて、関東高校駅伝競走大会が行われました。



女子駅伝チームのメンバー

本校からは、女子チームが出場しました。新型コロナウイルス感染症対策のため通常の駅伝とは違い、トラックレースのタイム合算方式で実施されました。

本校は1区文3の4島田愛香さん（足利二中）、2区文2の3澤井望乃さん（佐野北中）、3区総2の1吉田芹梨さん（三島中）、4区文2の1小野心愛さん（佐野南中）、5区総3の4太田瞳さん（桑中）のオーダーでレースに臨みました。

各区間で自分らしい走りをすることができ、チームとしても県大会からタイムを締め順位も上げることができました。これからも地道な努力を積み重ね、来シーズンに向けて頑張っていきたいと思えます。応援ありがとうございました。

## 活躍する文化部

### 囲碁・将棋部

第37回関東地区高等学校囲碁選手権大会

1月16日、神奈川県横浜市神奈川県教育会館において、第37回関東地区高等学校囲碁選手権大会が開催されました。本校からは11月の県予選で女子個人戦第1位となった、進1の1丸山榛菜さん（足利西中）が出場しました。丸山さんが出場したのは大きな碁盤全体を使って行う、十九路盤。決勝無しで、勝ち数だけでなく勝ち方も順位に影響されるリーグ戦でした。どのリーグも肉薄した試合運びとなり、緊張感が漂う中で戦いでしたが、結果は全18選手中、2勝2敗の11位。残念ながら入賞



対局中の丸山さん(左)

とはなりませんでしたが、初めて出場した関東大会で本人は大きな手ごたえを感じた様子でした。今大会での経験をGWに行われる総合文化祭県予選に生かしていきたいと思えます。

## 書道部

新たな一歩に

10月8～10日、第30回国際高校生選抜書展（書の甲子園）の審査会が行われ、特3の1青木千明さん（白鷺足利中）が入選しました。青木さんは、平安の三筆の一人で、緊張感あふれる運筆に特徴がある嵯峨天皇の「李嶠詩」を何度も臨書して、作品を完成させました。今年度の入賞入選は国内一万千点余りの応募作品のうち二千作品でした。

将来は、書道を通じて手書き文字の魅力を伝えていきたいと語る青木さんの、今後の活躍にエールを送ります。



青木さんの作品

## 写真部

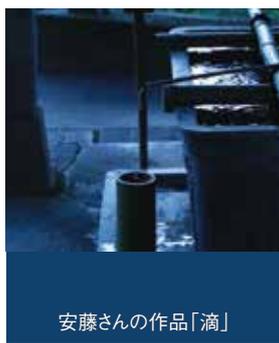
県高文祭写真展入選、市内高校写真展特選受賞

11月に開催された足利市内高校写真展において、課題の部と自由の部で総2の2藤貫哲矢さん（結城東中）が、自由の部で文2の4安藤大智さん（田沼東中）が、それぞれ特選を受賞しました。その他計8人も準特選等を受賞。本校写真部は高い評価を得ました。

また、12月に開催された栃木県高等学校総合文化祭写真展において文3の1五島佑一郎さん（足利三中）が課題の部で佳作を受賞、自由の部では入選し、神奈川県で開催された第28回関東地区高等学校写真展に作品が展示される快挙を成し遂げました。五島さんは本校卒業後、写真関係の専門学校へ進学が決まっています。今後の活躍が期待されます。



藤貫さんの作品「夏の思い出」



安藤さんの作品「滴」



五島さんの作品「チーム一丸」

## 軽音部

### バンドバトル決勝大会出場

全国高等学校軽音楽部対抗バンドバトル動画審査で審査員特別賞を受賞した軽音楽部は、12月20日に行われた決勝大会に出場しました。

大会当日はコロナ対策により、YouTubeで演奏の様子を配信する形となりました。コロナ禍によって出場できる大会が少なく、カメラに向かって生演奏できたことがとても嬉しかったです。入賞することはできませんでしたが、練習の成果を発揮することができ、良い経験となりました。また、全国大会に出場できるように努力したいと思います。



出演メンバー

## バトントワリング部

### 初の「金賞」受賞

昨年度はコロナ禍で多くの大会が開催中止になってしまいました。今年度は感染対策を徹底した上で、栃木県大会・関東大会の両

大会を開催していただき、出場することができました。演技タイトルは「Blue Birds」幸せを運ぶ青い鳥になぞらえ「この

苦しい世の中から逆境を乗り越えていく様を表現する」ことをコンセプトに演技しました。結果は初の「金賞」受賞！全国大会出場はあと一歩で叶いませんでしたが、目標に近づいたことを実感できました。来年こそは全国大会出場を目指し、更に努力します。



演技の様子

### 出場メンバー

総2の2 下境 来弥さん（小山市城南中）  
文2の1 渡末 愛夢さん（白鷺足利中）  
総1の1 宇野木琉那さん（北押原中）  
総1の3 立澤 伶奈さん（館林一中）  
文1の2 森田 碧さん（鹿沼北中）

## 科学部

### 初の最優秀賞受賞！

進1の2 黒杭祐祐さん（結城南中）が「アリジゴクの繭作りの要因を探る」というタイトルで、日本学生科学賞栃木県展覧会に研究成果を発表し、科学部で初となる

最優秀賞を受賞しました。



黒杭さんと研究作品

黒杭さんは5年前からアリジゴクの生態を研究しており、今年度は捕食量や排泄量が繭作りに与える影響について調べました。主体的・継続的に研究を進めていることや、排泄物を固形化し定量化する工夫、繭作りを始める要因について様々な角度から考察している点が評価され、受賞に至りました。

## 全国大会

### 柔道部 インターハイでリベンジ

柔道部は3月20・21日に東京都の日本武道館で開催された全国高等学校柔道選手権大会に出場しました。

20日の個人戦では、73kg級出場の総2の4 長須祐太さん（結城南中）がベスト16、81kg級出場の総2の3 内藤智さん（足利一中）が1回戦敗退、無差別級出場の総2の5 齋五澤凌生さん（足利一中）が第5位と健闘しました。

21日の団体戦では、初戦の仙台

育英高（宮城県）を2-2の内容勝ちで下し、2回戦の高知高（高知県）にも2-1で勝利しました。

3回戦、勝負どころの大成高（愛知県）は1点を追う形で登場した次鋒戦、総2の5 岩井陽介さん（府中六中）の内股一本、大将齋五澤凌生さんの合技一本で勝利し、2-1でこの大一番を乗り越え、準々決勝へと駒を進めました。

続く東海大相模高（神奈川県）には0-3で敗れましたが、第5位入賞と高校総体に向け大きな手応えを感じる大会となりました。



出場した選手たち

### ボクシング部

鈴木さん、念願の全国チャンピオン！  
小林さんは惜しくも第3位

の2名が出場しました。結果は鈴木さんが優勝し、小林さんは第3位に入賞することができました。鈴木さんは1回戦から危なげなく勝ち進み、特に決勝戦では、強敵を相手に1ラウンドから鋭いパンチでポイントを重ねるなど思い通りの試合を展開し、5-0のポイント勝ちで優勝をつかみとりました。さらに、JOCジュニアオリンピックカップを受賞し、名実ともに高校ボクシング界を代表する選手となりました。今後もチャンピオンとして全大会優勝を目指します。小林さんは、準決勝で惜しくも3対2のポイントで敗れ第3位となりましたが、大健闘です。今回の反省を生かして、9月に開催される全日本選手権大会ではチャンピオンになれると信じています。これからも勝利を目指して頑張りますので、応援よろしくお願いします。



第3位の小林さん

優勝した鈴木さん

**陸上競技部**  
悔しさをバネに入賞

10月22～24日に愛媛県総合運動公園陸上競技場においてU16・18陸上競技大会が行われ、本校から3名の生徒が出場しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により昨年に引き続き無観客での開催となりました。



出場した選手と顧問の新井先生

U18・走幅跳に出場した総2の1福田蒼依さん(矢板中)は5M72の記録で第6位に入賞しました。福田さんは、昨春の時点ではケガからの復帰で思うような結果を残すことができませんでしたが、8月のインターハイは決勝まで進み、今大会では入賞を果たすことができました。福田さんは「イン

ターハイの悔しさをバネにこの大会で、第6位に入賞することができてとても嬉しいです。更なる高みを目指し次のシーズンも頑張ります」とコメントし、来シーズンへの意欲を示しています。

**女子ソフトテニス部**  
7年連続18回目の出場

3月28～30日、愛知県名古屋市の日本ガイシホールで全国高校選抜大会が行われました。

初戦となる2回戦は近畿地区代表の須磨学園高校(兵庫県)と対戦しました。1番に出場した文2の3板井亜樹さん(前橋みずき中)・総1の5小林愛未さん(深谷花園中)ペアは、ゲーム中盤で離されG1-4で負けてしまいました。2番に出場した総1の2日

**男子ソフトボール部**  
インターハイに挑む二度目の初戦突破なるか?!

3月25～28日、岐阜県各務原市総合運動公園にて、第40回全国高等学校男子ソフトボール選抜大会が行われました。

岩手県代表の盛岡中央高等学校との初戦では、6回終了時点で、5点のリードを許していました。しかし、最終回表の攻撃で、一挙5点の猛攻により同点まで詰め寄りますが、流れを変えることはできず、その裏、1点を奪われ、悔

笠愛美さん(壬生中)・総2の3橋本和香菜さん(杉戸広島中)ペアも大将ペアにG0-4で敗戦。



大会会場にて

3番に出場した総1の3梶原理央さん(今市中)・総2の3菊次萌花さん(下館南中)ペアはG4-1で勝利するも、チームは1-2

しいサヨナラ負けとなりました。敗戦とはなりませんが、内容としては悪い試合ではなく、選手たちも皆、清々しい表情を浮かべていました。今大会を反省材料とし、次の大会に向けて頑張ります。今後も応援よろしくお願いします。



監督のもとに集まる選手達

で敗れました。チームは夏のインターハイを目指します。応援ありがとうございました。

**女子バスケットボール部**  
WINTER CUP 2021

女子バスケットボール部は12月23～26日に東京都で行われた全国高等学校バスケットボール選手権大会に出場しました。1回戦の相手は広島県代表の広島皆実高校で、83-62で勝利しました。2回戦の相手は練習試合でよく対戦していた群馬県代表の市立前橋高校でしたが、相手の得点源をしっかり押さえることができ、75-57で勝利しました。3回戦は留学生在のいる強豪チーム、東京都代表の明星学園高校でした。1ピリオドでゴ

**囲碁・将棋部**  
第30回函館高等学校文化連盟将棋新人大会

1月28・29日、徳島県徳島市グランドヴィリオホテル内にて、第30回全国高等学校文化連盟将棋新人大会が開催されました。本校からは10月の県予選にて女子個人戦第2位となった、進2の1大栗さやかさん(国分寺中)が出場しました。全国大会ながら、持ち時間15分、秒読み30秒の早指しでのリーグ戦。一度のミスが命取りとなる中、大きなミスをすることなく、



対局中の大栗さん



大会会場にて

ル下のシュートや外角からのシュートを決められてしまい、14-33と差を広げられてしまいました。後半は奮闘しましたが、力及ばずベスト16で敗退となりました。3年生は最後の大会となりましたが、チームをよく引っ張り頑張ってくれました。この経験を糧にして、来年は今大会の結果を超えられるようさらに精進いたします。

# 本校舎トピックス

## 手帳甲子園

総2の1五反田さん優秀賞に輝く

12月22日、第10回手帳甲子園の本大会が開催され、総2の1五反田純寧さん（佐野西中）が、手帳活用部門の最優秀賞候補として、プレゼンテーションを行いました。



佐々木幌太さんの表紙デザイン

## 1学年進路ガイダンス

11月15日、本校舎1年生237名を対象に進路ガイダンスが実施されました。生徒たちは1年半後の進路決定に向けて、「高校1年生の今、何をすべきか」を見出すことを目標にガイダンスに臨みました。

内容は、全体講演と職業系統や学習分野別分科会の2部構成で、

手帳甲子園では、生活習慣の改善や自身の目標達成に手帳を有効に活用している生徒を表彰するもので、手帳活用と表紙デザインの二つの部門があります。

### 校内手帳甲子園優秀者

#### 【手帳活用部門】

- 文1の3 手島こゆきさん（山辺中）
  - 総1の1 大澤 佑季さん（足利西中）
  - 総1の5 大川さくらさん（富田中）
  - 総2の1 五反田純寧さん（佐野西中）
  - 総3の1 植松 睦稀さん（深谷中）
- #### 【表紙デザイン部門】
- 文1の1 佐々木幌太さん（藤野高等学校）
  - 文1の3 江原 凜さん（桐生中央中）
  - 総3の1 中村 優花さん（小山城南中）
  - 総3の3 宮内 朱璃さん（小山中）
  - 総3の5 内田 桃子さん（足利西中）

本校でも、学校生活における記録やPDCAサイクルの構築を目標に手帳の記入を奨励しています。



分科会の様子

感染症対策の観点からテレビ放送やオンラインを活用しての実施となりました。全体講演は「有意義

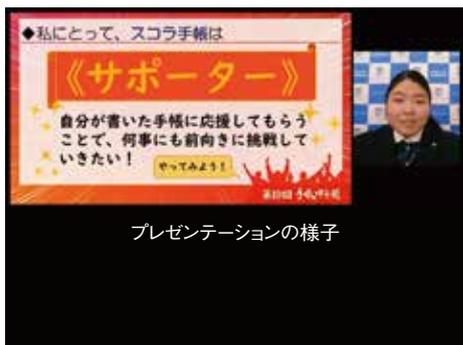


五反田さんの作品

導入4年目となった今年度は、優秀事例を共有したいという思いから、白鷗祭のイベントの一つとして校内手帳甲子園を企画しました。感染拡大防止の観点から、白鷗祭が中止になってしまったため、職員投票により手帳活用部門・表紙デザイン部門にそれぞれ5作品を応募作品として選出しました（選出された10名については表の通りです）。

「な高校生活の過ごし方」というタイトルで、視野を広げることや身の回りで起きていることに興味関心を持つことの必要性などについて、身近な具体例を交えての講演会でした。分科会では、希望に基づき系統分野に分かれ、上級学校の方からの説明を聞きました。生徒たちはこのガイダンスを通して、今後の高校生活への目標を見出したようです。

五反田さんの作品は手帳活用部門542作品のうち2次審査を通り、本大会で見事優秀賞5名の一人に選出されました。今年度の



プレゼンテーションの様子

## 2学年進路ガイダンス

10月27日、本校舎2年生を対象とした進路ガイダンスが開催されました。

6限は全体講演をテレビ視聴形式で行い、7限の分科会は希望進路別に会場を分けて実施しました。体育館アリーナ、卓球場、柔道場は対面型で行い、視聴覚室、多目的室はコロナ対応としてZoomを利用したりモット型での実施となりました。

今回のガイダンスでは例年来ていただいている大学・短大・専門学校その他、宇都宮大学、群馬大学等の国立大学にも参加いただきました。



分科会の様子

本大会は、感染防止の観点から、オンラインでの開催となったため、事前準備も試行錯誤の連続でした。当日、五反田さんはプレゼンの中で「手帳記入2年目になり、色ペンやイラストなどで見やすくなるよう工夫していくうち、何が達成できているかが可視化され、楽しみながら振り返りができるようになった。手帳は自分の一番の理解者であり、サポーターだ。これからも、手帳に応援されながら自分の目標とする進路実現に向けて頑張っていきたい」と力強く語りました。惜しくも最優秀賞には届きませんでしたが、成長の軌跡を感じさせるプレゼン内容でした。

生徒たちは上級学校の先生方から直接希望進路、分野についての説明を聞くことができ、刺激を受けた様子でした。今回のガイダンスが生徒たちの進路決定に生かされることを期待しています。

## 白鷗デジフエス Hustle&Creative

本校舎では、1月27日に白鷗祭の代替えである『白鷗デジフエス』が開催されました。この企画は2つの部門に分かれています。

まず、『文化デジフエス部門』では、生徒や職員による投稿動画を各教室で視聴しました。

部活動の活動報告や、有志による歌・ダンス、富田



キャンパスの生徒による『実話をもとにした高校生短編自主映画L E T i t b e』など、個性豊かで大変見応えのあるイベントとなりました。



書道パフォーマンス



吹奏楽部

『スポーツデジフエス部門』は、今話題のデジタルスポーツである【S A S S E N ( サッセン )】や【H A D O ( ハドロー )】を取り入れ、高度情報化社会における新スポーツを体験できるイベントです。



今回は『文化デジフエス部門』のみの開催となりました。コロナ禍で、学校行事に制限がかかる場面が多々ありますが、今後も生徒が楽しめる企画を実施できると、創意工夫してまいります。

## 富田キャンパストピックス

### 英検1級合格



特別進学コース  
1年2組  
石塚 千鈞さん  
(くま国際アカデミー)

2021年度第2回検定において、特1の2石塚千鈞さん(ぐんま国際アカデミー)が実用英語技能検定1級に合格しました。

### 三年生表彰式

2月28日、卒業式を翌日に控え、富田キャンパスでは、3年間慣れ親しんだシィガルホールで3年生の表彰式が行われました。学業や部活動での功績を讃えるものや、3か年皆勤賞など多くの生徒たち



湯澤教頭先生から賞状を授与される  
特3の1関口怜美さん(佐野北中)

石塚さんは中学1年生の時に準1級に合格しました。その後、1級合格を目標に勉強を続け、今回の挑戦で見事合格を果たしました。2次試験ではその場で五つのテーマが与えられ、その中から一つを選び即興で2分間のスピーチを行います。さらにそのスピーチの内容について、面接官の質問に答えます。自分の考えを瞬時にまとめて話すことは難易度が高い技能ですが、練習を重ね本番では自らが表彰されました。湯澤教頭先生から賞状を授与された代表生徒の緊張した表情が印象的でした。

また、式終了後は、3年間の思い出の詰まったDVDを鑑賞しました。高校生活のほとんどをコロナ禍の中で過ごし、修学旅行をはじめ、多くの行事が中止・縮小となった3年生でしたが、制限の中でも精一杯に行事を楽しんでいる姿に思わず笑みがこぼれました。

生徒たちは、3年間学んだ富田校舎、そして一緒に苦楽を分かち合った友人たちとの別れを前に、感慨深い一日を過ごしたようです。自分たちの3年間で振り返るとともに、白鷗足利高校での思い出を改めて胸に刻んだ一日となったことでしょう。

信を持つて話すことができました。高校入学時の目標を達成し、今後は将来の進路実現に向けてさらに努力を重ねて欲しいと思います。

### 武将キャッチフリーズ

交通安全キャッチフリーズ市議会議員賞

2月10日、足利市役所にて、戦国武将をモチーフにした交通安全ポスターキャッチフリーズ募集事業の表彰式が開催されました。本校でも生徒全員から募集し、その中で選ばれたキャッチフリーズを応募しました。

足利市内の小・中・高校や一般の方々から多くの応募があった中で、進1の3長谷京香さん(協和)が「市議会議員賞」に輝きました。長谷さんの「敵陣が見えぬぞ、早めにライトを点けよ」というキャッチフレーズのポスターは今後、足利各所に掲示されます。



表彰を受けた長谷さん

## SDGs講演会

本校舎富田キャンパス1年

### 講演会

2学期から3学期にかけて、1学年進路探究講座が行われました。まずは11月4日に富田キャンパスで、1月17日に本校舎で、JTBの主催で、「SDGsワークショップ」Decade of Action」というテーマで講演会が行われました。

SDGsとは、2030年までに達成すべき持続可能な開発目標として、17の世界的目標、169の達成基準、232の指標を示し、持続可能な世界を実現しようとする取り組みのことで。この講座では、環境汚染や貧困社会の現実を示した上で、それらを解決するために各国や世界の企業がどんな取り組みを行っているのかという実例を多く取り上げました。



ワークショップに取り組む様子

また、私たちが日常生活の中で今できること、これからすべきことなどを考え、意見を交換することで、生徒一人ひとりが、「自分の課題」としてSDGsに向き合うような工夫もされていました。それらを通して、生徒たちはSDGsについての基本的な知識を学べたようです。

### 小論文講演会

富田キャンパスでは11月25日に第一学習社主催の「小論文トレーニング」を実施し、SDGsに関する小論文に挑戦しました。自分で調べたSDGsのことや講演を聴講して気づいたことなどを文章にまとめることで、学びを深めることが目的です。



小論文の書き方について学ぶ生徒たち

買い物でエコバッグを利用するというような日常的にできることを実践したいという意見や教室からごみ箱を撤去してごみを減らす努力をしたらどうだろうかというユニークな提案など、高校生ならではの主張がたくさんありました。

また、1月13日にはそれぞれが書いた文章をもとに文章の書き方や内容構成についての分析会も行い、SDGsの理解を深めるとともに効果的な小論文の書き方を学びました。

知識や技能を身につけることはもちろんですが、現代は情報を的確に理解し、思考力を深め、自分の意見として伝える能力が求められます。今回のSDGsに関する一連の進路探究講座がその一端を担えれば幸いに思います。

### 1年探究発表会

3月15日に富田キャンパスシールホールにて、進路基礎探究講座発表会が開催されました。4名前後で編成された計56班が、それぞれの関心のあるテーマについて、数学Iで学んだデータ分析を利用した発表を行いました。生徒たちはエクセルを利用して、散布図や棒グラフ、円グラフを作成し、パワーポイントに内容をまとめ、聴講者に理解しやすい発表を行いました。



発表会の様子

生徒たちの柔軟で自由なテーマ設定により、発表内容が非常に新鮮で、有意義な内容となりました。コロナウィルスまん延防止措置に伴う短縮授業のため、準備期間が非常に短い中で開催となりましたが、各班が予定を立て、計画的に準備を進めてきました。

今回は探究活動を通して、数学的な捉え方、分析の過程に関する理解を深めることができました。この一連の流れは、大学での研究活動やレポート作成の基礎となります。また聴講者に理解しやすいよう、準備を進めてきました。

### 映画にかける青春

短編映画フェスティバル(SFF)出品

私たちは富田キャンパス生と太田高校生の5名で映像制作をしていくチームです。白鷗中学校からの仲間でもともと映像制作を遊びの一つとして楽しんでいたので、コロナ禍で制限の多い高校生活を少しでも充実させるために、映像制作で何か新しいことをしたいと考えていました。

そんな中で見つけたのが短編映画コンテスト(SFF)の作品募集の記事でした。その時は締め切り間近で作品を出品することができなかつたのですが、YouTubeで作品を配信し、視聴者から多くの反響があったことが、私たちの創作意欲に火をつけました。それから、5人で企画・アイディ



発表会の様子

ます。今回の経験を、これからの学校生活に生かしてくれることを期待します。

アを出し合い、制作活動を続け、目標だった短編映画のコンテスト(SFF)に3作品を出品し、昨年の4月には上映会を開催しました。

私たちは、映画を通して自分たちの意見を、高校生である「今」伝えることに意義を感じています。協力してくれた人たちのおかげで多くのメディアにも取りあげられ、私たちの「遊び」は将来の目標や夢に繋がっていきま



Bad Guys ART Workのメンバー

た。その夢の実現を目指して、今後も5人の活動を続けていきたいと思います。

# 白鷗大学だより

フルス ウルトラ  
PLUS ULTRA—さらに向こうへ。

## 男子バスケットボール部が日本一の栄冠 ～女子も3年連続の準優勝～

第73回全日本大学バスケットボール選手権大会（インカレ）において、男子バスケットボール部が悲願の初優勝、女子バスケットボール部も3年連続の準優勝に輝きました。

男子は前回王者・東海大学との決勝戦において、第4クォーターで一気に逆転し、63-58で勝利。これまで12回出場しましたが、今大会で創部初となる決勝に進出し、日本一の栄冠をつかいました。

個人では逆転のシュートを決めた主将の松下裕汰選手（教育・スポーツ4年）が最優秀選手賞を獲得。ブラグロリダ選手（経営4年）と角田太輝選手（教育・スポーツ4年）が優秀選手賞を受賞



初の頂点に喜ぶ選手たち

しました。男子を率いる網野友雄監督は「大会を通して学生たちが成長し、どんなに不利な状況でも諦めずに戦い抜いてくれたことが勝因だ」と選手の成長に目を細めました。

女子は、決勝で3年連続、東京医療保健大学と対戦。善戦しましたが一歩及ばず、惜しくも準優勝となりました。来年は2016年以来2度目の日本一を目指します。

個人では鈴置彩夏選手（教育・スポーツ3年）が敢闘賞、山下詩織選手（教育・スポーツ4年）が優秀選手賞、オコンクウォオス・ザンアマカ選手（経営1年）がリバウンド王をそれぞれ受賞しました。

### 大行寺キャンパスの整備完了 ～新たなバスロケターと時計台が完成～

教育学部の学生が学ぶ大行寺キャンパスのバスロケターが完成し、昨年11月から利用が始まりました。スクールバス乗り場を移設し、カモメをモチーフにした屋根が設けられ、悪天候でも快適にバスを利用することができます。

また、同窓会組織である鷗友会からは時計台が寄贈され、正門、バス停、多目的広場から臨める芝生広場に設置されました。2006年に廃止となった白鷗大

## 学生&企業研究発表会で青崎ゼミが最優秀賞を受賞

～地域の活性化をテーマに研究に取り組む～



受賞した青崎ゼミの学生たち

大学コンソーシアムと共催「第18回学生&企業研究発表会」に経営学部の青崎智行ゼミナールが出場し、内容結晶さんたちのグループが最優秀賞となる知事賞、加藤颯泰さんたちのグループも栃木県経済同友会賞を受賞しました。

最優秀賞の内容谷さんらは、「ネットワーク型コンパクトシティ（NCC）に住んでみよう」をテーマに、宇都宮市が推進するNCCの利便性を小中学生が疑似体

学女子短期大学の校舎時計塔跡地に設置された時計台は、大行寺キャンパスの新たなシンボルとなりました。また、白鷗大学エンブレムのほかに鷗友会のマスコットキャラクター「おうくん・ゆうちゃん」も描かれた文字盤は、夜間に照明が点灯します。



整備された大行寺キャンパス

じながら快適に学業に打ち込めるキャンパスになりました。

験できるゲームを開発し、住民理解を促進させようとする研究に取り組みました。また栃木県経済同友会賞の加藤さんらは、「『オタクベース』プロジェクト」エンターテインメント活用による収益源多角化の可能性」をテーマに研究を行いました。

担当教員の青崎教授は、「オンラインとリアルを組み合わせながら各方面の専門家にアタックし、壁にぶつかりながらもゼミ生一丸となって粘り強く議論を重ね、研究活動に打ち込む姿は頼もしかった。この経験を後輩の学生と自らの将来につなげていってほしい」と期待を寄せました。

青崎ゼミでは、インターネット・SNS等のメディアや、映画・テレビ番組・アニメ・音楽・ゲーム等のコンテンツなどを、コミュニケーションビジネス分野として、経営学の視点から研究を行っています。

# PTAだより

令和3年度のPTA活動 PTA会長 西場 伸一



卒業生の皆さん、保護者の皆様  
卒業おめでとうございます。

本来であれば卒業式には保護者の皆様の参列をいただき、共にお祝いをするはずでしたが、「新型コロナウイルス」という感染症の流行により、一部のPTA役員のみが参列させていただきました。また、卒業式後に教職員の皆様をお招きしての「卒業を祝う会」も

## 生徒会役員誕生

11月1日の認証式をもって、生徒会が足りました。新生徒会は本校舎9名、富田キャンパス13名の計22名です。一人ひとりがやる気に満ちており、「学校を今まで以上に良くしよう」と熱い思いを持っていきます。先輩から業務を引き継ぐだけでなく、学校行事の見直しを始めました。



本校舎生徒会役員

- |      |       |             |
|------|-------|-------------|
| 会    | 長文2の2 | 片岡 彩希(古賀中)  |
| 副会長  | 長文2の2 | 藤貫 哲矢(給城東中) |
| 議    | 文1の1  | 石関 愛利(毛野中)  |
| 長    | 長文2の3 | 五十畑 葵(佐野南中) |
| 副議長  | 長文1の4 | 岡部 愛(佐野南中)  |
| 書記   | 記総2の3 | 館野緋向路(田沼東中) |
| 総    | 記2の5  | 岩崎 涼花(あずま中) |
| 会計   | 計文1の3 | 小菅 雅生(足利北中) |
| 会計監査 | 総1の5  | 畑中 空(山辺中)   |



富田キャンパス生徒会役員

- |      |       |              |
|------|-------|--------------|
| 副会長  | 特1の1  | 菊地 愛生(白鷺足利中) |
| 長    | 特2の1  | 吉村 真依(白鷺足利中) |
| 副議長  | 特2の1  | 佐藤華奈瑠(邑楽中)   |
| 計    | 進1の1  | 高橋 玲央(館林四中)  |
| 会    | 記進2の3 | 山口 來華(館林三中)  |
| 書記   | 進2の1  | 前川 乃映(大谷中)   |
| 会計監査 | 進2の1  | 岩瀬明日羽(大泉南中)  |
| 進    | 進1の1  | 長 美希(足利北中)   |
| 進    | 進1の2  | 金井 さら(白鷺足利中) |
| 進    | 進1の3  | 齋藤 匠(愛宕台中)   |
| 特    | 特1の2  | 山野内希和(足利西中)  |

新型コロナウイルスの影響で、今まで通りできないこともあります

が、「PLUS ULTRA」の精神で新しいことにチャレンジし、

学校の新時代を築いてまいります。

中止とさせていただきました。保護者の皆様と教職員の皆様との懇談の機会を設けることができず、誠に申し訳なく思っております。

本年度の卒業生の皆様は、2学年・3学年の楽しい高校生活の活動が「新型コロナウイルス」の影響で中止や延期になってしまい、辛くて悲しい2年間になってしまったのではないのでしょうか。私たちPTA会員も「体育祭」の見学自粛や「白鷺祭」の中止など、生徒の皆様様の活動に触れる機会を奪われてしまい、残念でなりません。

## 人命救助に貢献 警察署長から感謝状贈呈

総2の5 亀井小雪さん(伊勢崎四中)

が人命救助に貢献し、足利警察署長から感謝状を贈呈されました。



感謝状を贈呈された亀井さん(中央)

していただきました。「PTA総会」「支部懇談会」「PTA・OB会総会」「大学見学研修会」等の行事も全て中止とさせていただきました。PTA会員の皆様と一緒に活動ができず、辛い1年間になってしまいました。令和4年度は従来通りの活動が行える年になることを期待しております。これからも「新型コロナウイルス」の影響は続くものと思われませんが、PTA会員の皆様には健康に留意され、PTA活動へのご協力を御願ひ申し上げます。

した。  
亀井さんは硬式野球部のマネージャーで、10月31日の夕方、部活動練習後の下校途中、一人の女性が橋の欄干に足をかけているところを引き留め、警察官が到着するまで付き添いました。

## 編集後記

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は現在も続いています。悲惨な現状が連日報道されており、終結の兆しは見られません。日本では現在、戦争は行われていませんが、日本に人的被害がないからといって、この現状を対岸の火事と捉えることはあまりに楽観的です。小麦製品の高騰、半導体不足、環境への悪影響…。世の中の出来事を他人事と捉えず自分事と捉えることで、身近に迫る様々な問題が浮かび上がってきます。生徒の皆様さんには学校生活や時事問題を通して、多角的な視点や思考力を身に付けてほしいと思います。

※ お忙しい中、原稿・写真等の協力ありがとうございました。  
編集・校報委員会  
発行・白鷺大学足利高等学校  
足利市伊勢南町3の2  
0284-41-0890  
制作・(有)コーエイプロセス  
発行日・令和4年3月31日